



レンゴー株式会社向け ポジティブ・インパクト・ファイナンスのシンジケートローン参加について

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、2020年9月28日（月）、レンゴー株式会社（代表取締役社長兼COO 川本 洋祐）に対するポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、「PIF」）のシンジケートローンに参加しました。

PIFとは、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱するポジティブ・インパクト金融原則^{※1}に基づき、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資です。企業によるSDGs（持続可能な開発目標）達成への貢献度合いを評価指標として活用し、情報開示することが特徴となっています。

当行は、昨年5月に「ちばぎんグループSDGs宣言」^{※2}を公表し、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでいます。PIFのシンジケートローン参加もその一環であり、今後もグループを挙げてお客さまの事業活動を支援してまいります。

【シンジケートローン概要】

借 入 人	レンゴー株式会社（東証一部上場、証券番号 3941）
アレンジャー/エージェント	三井住友信託銀行株式会社
参 加 行	千葉銀行他 15 行
契 約 締 結 日	2020年9月28日（月）
組 成 総 額	50 億円
資 金 使 途	運転資金
貸 出 形 態	タームローン

※1 2017年1月にUNEP FIが策定したSDGs達成に向けた金融の枠組みのこと。企業がSDGs達成度合いをKPIで開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金供給することにより、プラスの影響の増大とマイナスの影響の低減に向けた努力を促す。

※2 地域が抱える社会・環境課題の認識やこうした課題に対する当行グループの取組方針をまとめたもの。

以 上